



CSR REPORT 2023

RESONAC

株式会社レゾナックHD山形

1. 社長メッセージ

CSRサイトレポートを発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

株式会社レゾナックHD山形は、レゾナックグループのハードディスク事業の重要生産拠点として、開業以来「安全・安定操業、環境トラブルゼロ」を事業継続の大前提と掲げております。

ハードディスクは、パソコンやデータセンター向けハードディスクドライブ（HDD）を始めとして、カーナビゲーション、外付けHDD、HDDレコーダー、ゲーム機、VR、監視カメラ等に広く使用されている大容量記録媒体であり、レゾナックグループのハードディスク事業は、世界の20%余りの市場シェアを占めています。

近年では、IoTの伸張に伴うビッグデータの活用、クラウド・モバイルの普及によるデータセンターの大容量化が進むと同時に、今後は生成AIによる新たなデータの創出が見込まれることから、データセンターで利用されるニアラインHDD（NL-HDD）は益々重要な役割を担うことが期待されております。

当社は、NL-HDD向け大容量ハードディスクの技術革新をさらに推し進めており、アルミニウム基板の薄板化、高剛性化を追求し、今後も拡大進化を続ける高度デジタル化社会にいつそう貢献してまいります。

SiCパワー半導体は、現在主流のシリコン半導体に比べ高電圧特性、大電流特性に優れ、電力損失も大幅に削減できることから、電力制御に用いるモジュールの高効率化、カーボンニュートラルを実現する製品として市場が拡大しており、今後さらなる需要拡大が見込まれております。ここ山形でも高性能、高品質のSiCウエハの供給に向けて、早急に準備を進めているところです。

新型コロナウイルス感染症による社会生活への不安が広がる中、今後も良き企業市民としてCSR活動を実践し、安全・安心・快適で環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の実現に向け、事業を力強く推進いたします。

代表取締役社長 真壁 保志



2. 事業所長メッセージ

株式会社レゾナックHD山形は、レゾナックグループがグローバルに展開するハードディスク事業の基幹工場として2009年7月に操業を開始しました。開業以来、「安全・安定操業、環境トラブルゼロ」を継続できておりますのは、ひとえにお客様、サプライヤー様、協力企業様、社員並びに関係各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ハードディスクは、DX、IoT、AI等の伸張を支えるハードディスクドライブの基幹部品であり、高度デジタル化社会の進展に伴い、高容量化、更なる信頼性の向上、コストダウンが益々求められています。加えて、SiCエピウエハは今後、EVや再生可能エネルギーシステムで使われる次世代パワー半導体向けに大きな市場成長が見込まれており、その供給準備を進めています。

レゾナックHD山形は、グループの新しい企業理念である「化学の力で社会を変える」をパーパスとして、技術のイノベーションをベースに、「Best-In-Class (BIC)」製品の安定供給を通して、顧客並びに社会のニーズに応え、ステークホルダーの皆さまとの共創により当社らしい価値を提供し続けることで、社会と共に持続的な成長を実現してまいります。また、化学メーカーとして、安全・環境・品質などの視点から責任ある工場運営を心掛け、『安全とコンプライアンスはすべてに優先する』という信念を持って、安全文化の醸成と各種事故の根絶に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

本レポートをご覧いただき、わたくしたちの取り組みへの忌憚のないご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

取締役事業所長 工藤 正典



3. 会社概要

レゾナック エイチディーヤマガタ

◆ 株式会社 レゾナックHD山形 ◆

<株式会社レゾナックの100%子会社>

- 操業開始 2009年(平成21年)7月1日
- 資本金 450百万円(2022年12月31日現在)
- 従業員 社員:367人、協力会社:447人(2022年12月31日現在)
- 所在地 〒999-3701 本社:山形県東根市大字東根甲5400番地2
〒323-8678 基板工場:栃木県小山市犬塚1丁目480番地
- 事業内容 磁気ディスク装置用アルミニウム基板及び
記録メディアの開発、製造、販売



ハードディスクメディア

【株式会社レゾナック・ホールディングス】

- 設立 1939年(昭和14年)6月
- 資本金 182,146百万円(2022年12月31日現在)
- 従業員 グループ連結:25,803人(2022年12月31日現在)
- 本社所在地 〒105-7325 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング
- 売上高 グループ連結:1兆3,926億円(2022年12月期)

【株式会社レゾナック】

- 設立 1962年(昭和37年)10月
- 本社所在地 〒105-7325 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング
- 事業内容 エレクトロニクス、モビリティ、機能材料、石油化学、基礎化学品、
グラファイト、デバイスソリューション、ライフサイエンス

・ CSRレポートの報告対象範囲

昭和電工HD山形(株)としての2022年4月~12月及び(株)レゾナックHD山形としての2023年1月~3月を対象期間とし、対象範囲は、本社及び基板工場をです。但し、環境データの一部は、2022年1月~12月のものです。

2023年 RHDY事業所方針

RHDY 元年

～未来志向で、ピンチをチャンスに変える

1. BIC品質/生産性の達成
2. 儲かる基板事業の実現
3. 新技術・新規プログラムの開発加速と垂直立上げ
4. 事業所基盤の強化
5. 安全安定操業とコンプライアンスの徹底

以 上

5. マネジメントシステム

■ 品質マネジメントシステムの維持強化 (業務方針、方向の明確化と進捗管理)

1. 品質方針

- ・方針展開は以下の通りトップダウンにより周知徹底を図っています。
(株)レゾナックデバイスソリューション事業部⇒事業所方針
⇒各部方針⇒全従業員

2. 業務遂行の重要ポイント

- ・各部における重要な業務プロセスを明確にします。
- ・更に、その業務と各部とのかわりも明確にしています。
- ・実績検討会や生産会議の場で、トップへ報告を行います。

3. 国際規格ISO9001の取得

- ・2010年1月に品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得しました。また2016年1月には小山基板工場を統合し、基板とメディアの開発、製造、販売へ認証を拡大しております。
認証番号 : QC09J0076
登録日 : 2010年1月6日
認証機関 : 株式会社日本環境認証機構(JACO)

■ 顧客満足度の向上を目指した活動

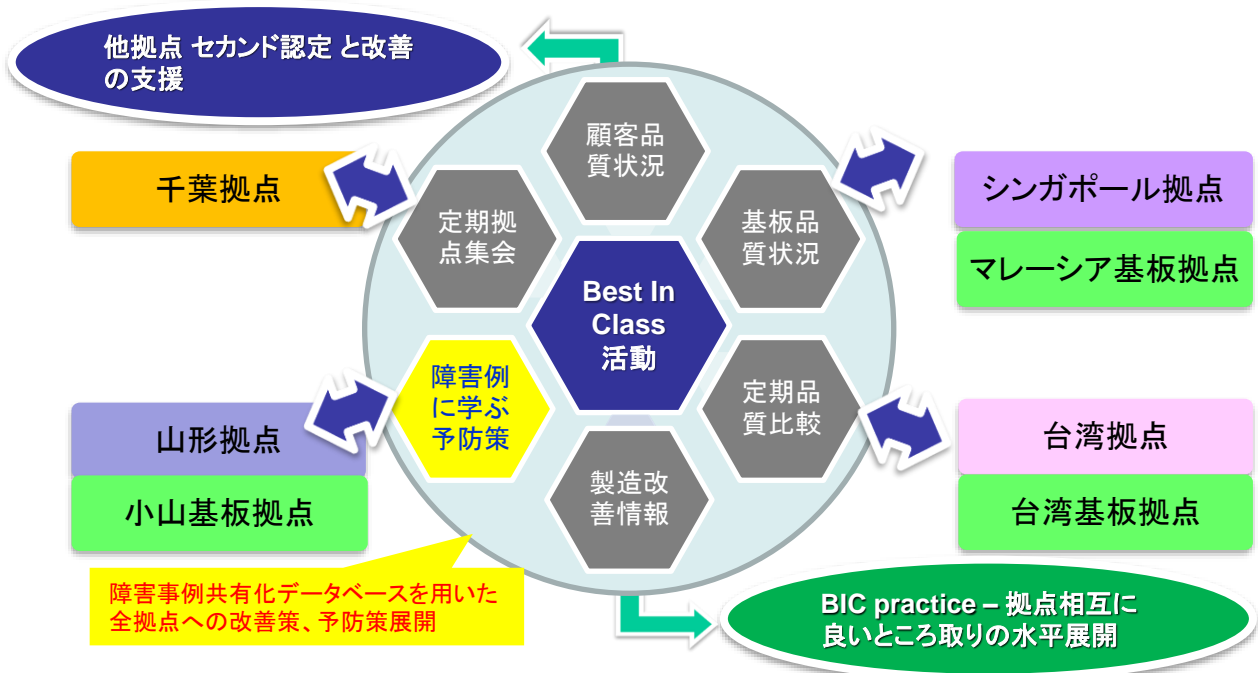
1. お客様とよりよい関係の構築

- ・各場面(開発/量産/出荷先)で顧客との定期打合せにより、品質状況の共有と要求事項への対応をしています。

打合せ名	内容	参加組織
開発コラボ会議	・新機種設計仕様と目標達成度の確認 ・市場品質状況、市場要求事項の確認	顧客設計部門 当社開発部門
量産コラボ会議	・量産状況確認と品質課題への対応 ・継続的改善活動	顧客SQE部門(国内/海外) 当社品証部門(各製造拠点) 当社プロセス改善部門

2. お客様の満足とさらなる安心をめざす安定品質の提供

- ・ニアライン機種及び基板のマザー工場として、初回認定を受けた後、他拠点のセカンド認定と量産時の改善の支援を行っています。
- ・全製造拠点間で媒体に関する顧客品質状況や主な基板供給拠点間での製造品質・改善情報の共有により、品質格差の低減と顧客品質問題に対する先取り対策を水平展開しています。この活動はレゾナックグループのHD事業における全体活動として行われており、Best in Class活動と呼ばれています。



労働安全衛生・環境方針

【理念】

レゾナックHD山形は、レゾナックグループのパーパス「化学の力で社会を変える」に基づき、人の安全と健康及び地球環境に配慮した企業活動を通じて、社会の課題を解決し、社会に価値提供をすることで、企業価値の向上を実現するとともに、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

【行動指針】

当社の事業活動は、高度情報化社会を支えるキーデバイスである磁気ディスク装置（HDD）に使われる基板を含む記録メディア（HD）の開発・製造・販売を行っています。当社は、事業を遂行していくにあたり、労働安全衛生・環境マネジメントシステムの運用に関わる行動指針を以下のごとく定めます。

1. 労働安全衛生マネジメントシステム及び環境マネジメントシステムの継続的な改善を行うと共に、労働災害防止および環境保護に努めます。
2. 労働安全衛生と環境に関連する法令、規制と当社が同意したその他の要求事項を順守すると共に、自主的な基準を設定し順守します。
3. 人の安全と健康の確保及び環境保全に配慮して、高性能・高品質で、信頼性の高い製品、サービスを社会に提供し、社会的価値を創出することを目的に、以下の重点テーマに基づく実施計画書を設定して取り組みます。また、実施計画を定期的に見直し、労働安全衛生と環境のパフォーマンスを継続的に改善します。
 - 1) リスクアセスメントの活用・マネジメントシステムの深化により災害ゼロを目指す。
 - 2) 疾病予防と健康管理を推進し、こころと身体の健康づくりを目指す。
 - 3) 事業活動を通じてサステイナブルな社会の実現に貢献する。
4. 事業継続のベースは「安全・安定操業、環境トラブルゼロ」にあることを認識し、教育訓練や啓発活動を通じて、安全が全てに優先する文化を醸成し、コンプライアンス違反を許さない高い倫理観を養い、グローバルトップレベルの安全、コンプライアンスが実現できるよう、一人ひとりが自ら考え、行動できるよう取り組みます。
5. 地域社会、公的機関及び利害関係者との良好な関係を図るため、積極的な情報開示と対話に取り組みます。

この方針は当社で働く又は当社のために働くすべての人に周知すると共に、社外からの要求に応じて一般の人にも開示します。

2023年 1月11日
株式会社レゾナックHD山形

事業所長 工藤 正典

労働安全衛生・環境マネジメントシステム

(株)レゾナックHD山形は2009年11月に「環境マネジメントシステム」の認証を取得しました。「労働安全衛生マネジメントシステム」は2021年1月にOHSAS18001よりISO45001の認証への移行が完了しました。二つのマネジメントシステムを統合した運営を行い、効率的な活動を展開しています。

＜環境マネジメントシステム＞

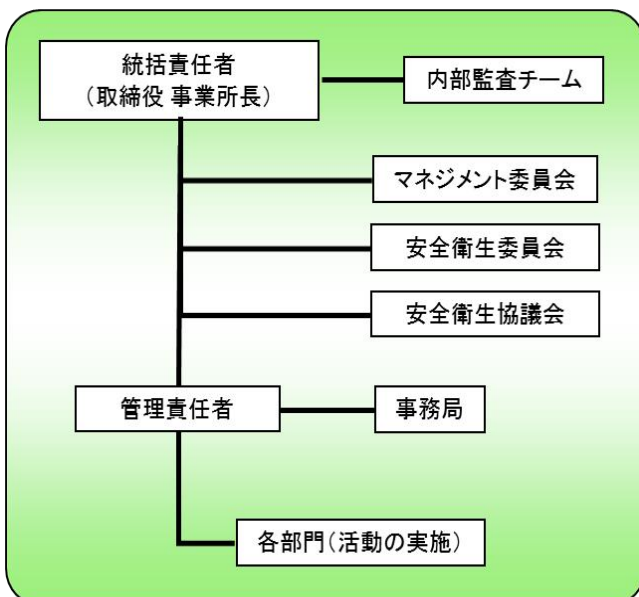
- ・認証規格: ISO14001:2015
(JIS Q 14001:2015)
- ・登録番号: 12ER-862
- ・初回登録日: 2009年11月25日
- ・認証機関: 高圧ガス保安協会 ISO審査センター
(KHK-ISO Center)

＜労働安全衛生マネジメントシステム＞

- ・認証規格: ISO45001:2018
(JIS Q 45001:2018)
- ・登録番号: 21HR-023
- ・初回登録日: 2021年1月29日
- ・認証機関: 高圧ガス保安協会 ISO審査センター
(KHK-ISO Center)



労働安全衛生・環境マネジメント組織



環境活動に関しては、各部門において環境負荷低減を推進しています。

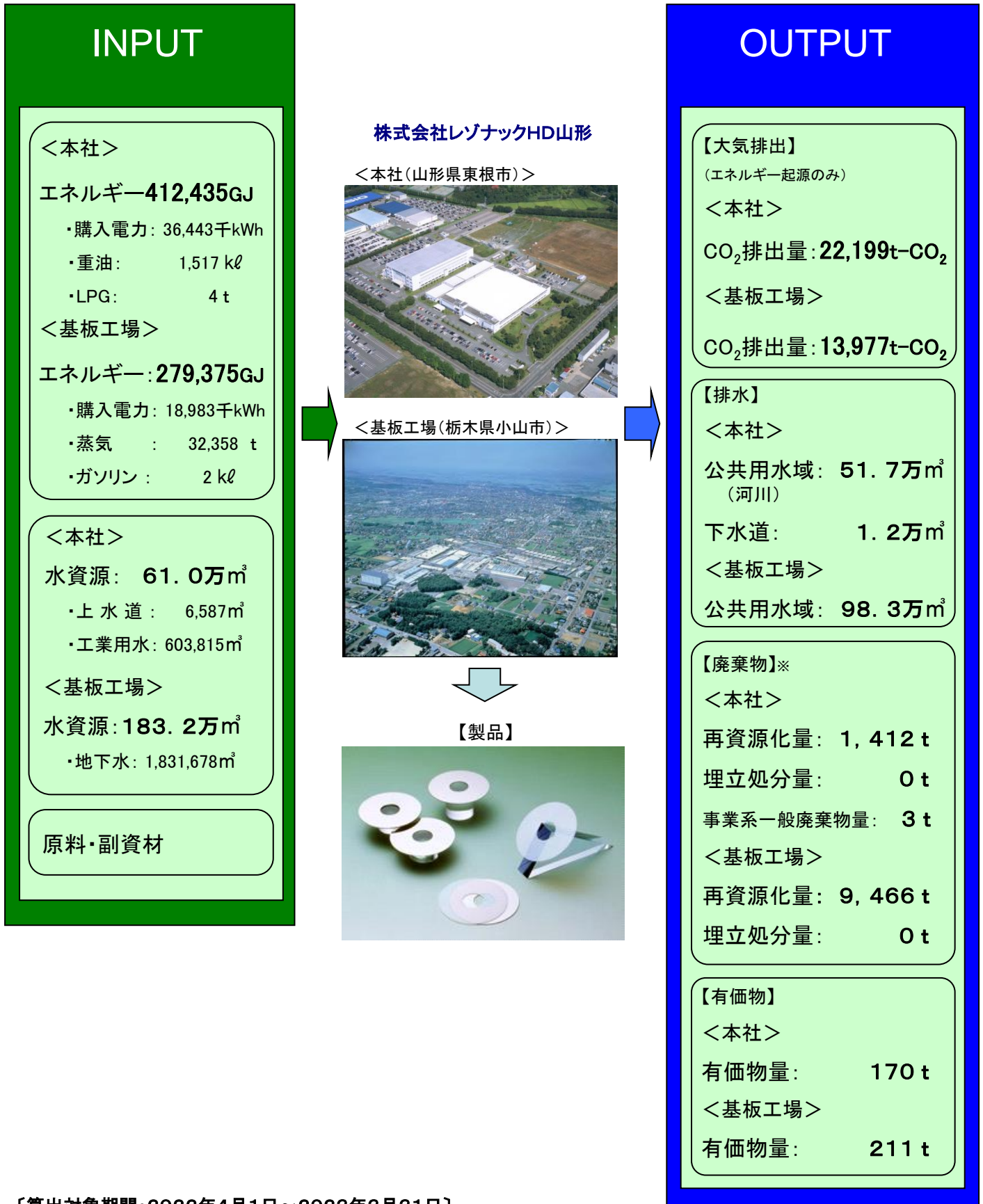
労働安全衛生活動に関しては、職場の各部門内の小グループにて危険リスクを抽出し、危険源の排除活動を行い、安全で快適な職場環境を実現しています。

これらの活動はマネジメント委員会にて審議され、活動のスパイラルアップを行う体制としています。

定期的実施される内部監査や外部審査により、労働安全衛生・環境活動の運用状況や継続的改善の状況についてチェックしています。

6. 環境負荷の概要

当社は製品を提供するために、さまざまな原材料を調達し、燃料・電力などのエネルギーや水資源を使用しています。また、生産活動に伴って発生する環境負荷の低減活動も積極的に行っています。



〔算出対象期間: 2022年4月1日~2023年3月31日〕

※ゼロエミッション達成中: 定義は埋立処分量が廃棄物発生量の0.5%以下であること。

7. 地球温暖化対策

エネルギー起源CO₂の排出量削減

以下の活動を実施し、エネルギー起源のCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

①製造設備の効率化

記録メディア製造工程の歩留まり改善やライン稼働率の向上を図ることにより、エネルギー当たりの生産量増加に継続的に取り組んでいます。

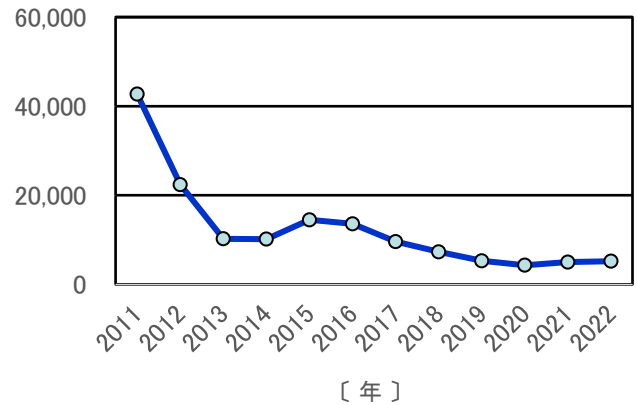
	目標 (2021年度実績)	実績
使用量(原油換算)	10,018 kℓ	10,641 kℓ
CO ₂ 排出量	20,083 t-CO ₂	22,199 t-CO ₂

(注: 本社のみ値)

CO₂以外の温室効果ガス削減

記録メディア製造工程で使用する溶剤(HFC: 代替フロン)の1つで温室効果ガスの蒸散量を低減するために、潤滑剤塗布装置内の液温及び製造エリアの室温下げ調整等に取り組んでいます。それにより溶剤の蒸散量を抑制しました。

[t-CO₂] 大気排出量の推移



8. 廃棄物対策

廃棄物削減

記録メディア・基板製造工程の排水を処理することで汚泥が発生します。汚泥の削減のため、排水処理方法の検討を行い廃棄物発生量の抑制に取り組んでいます。

また、廃プラスチック類の分別を継続的に行うなど、廃棄物の有価物化に積極的に取り組み、廃棄物発生量の削減に努めています。

廃棄物発生量が目標未達であったのは、アルミ基板増産により、基板製造工程からの排出量が増加したためです。

	目標 (2021年度実績)	実績
総発生量	828 t	1,412 t
廃棄物発生量	645 t	645 t
有価物量	180 t	180 t
一般廃棄物(事業系)	3 t	3 t

(注: 本社のみ値)

[7. 地球温暖化対策、8. 廃棄物対策における活動期間は、2022年4月1日 ~ 2023年3月31日]

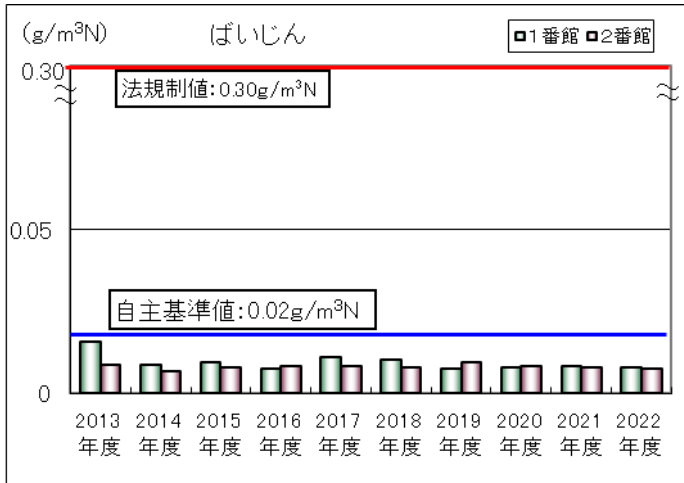
9. 環境に関わる法規制の順守状況

大気関係

当社は大気汚染防止法に関連する設備として、空調用のボイラー、吸収式冷凍機のばい煙発生施設を設置しています。

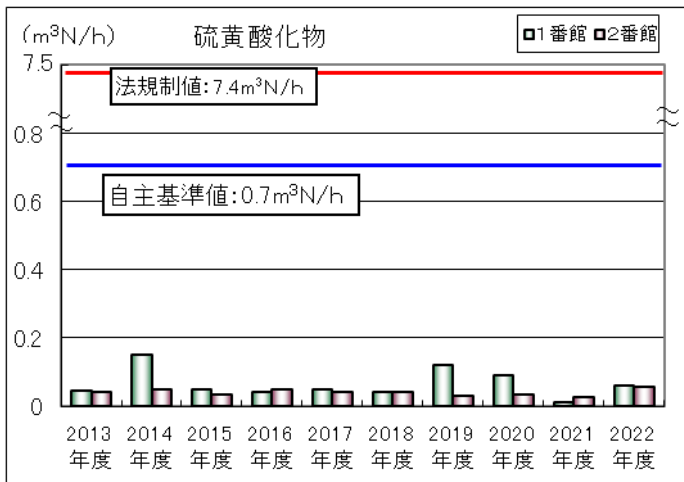
大気汚染防止法に基づく定期測定の結果、大気への環境負荷物質の排出量は法規制値を大幅に下回る低い水準で推移しています。

各機器では、最適な燃焼効率となるように適宜調整を行っています。また、冬期間は外気を活用したフリークーリングシステムを積極的に利用することで吸収式冷凍機運転停止による、ばい煙発生抑制に努めています。



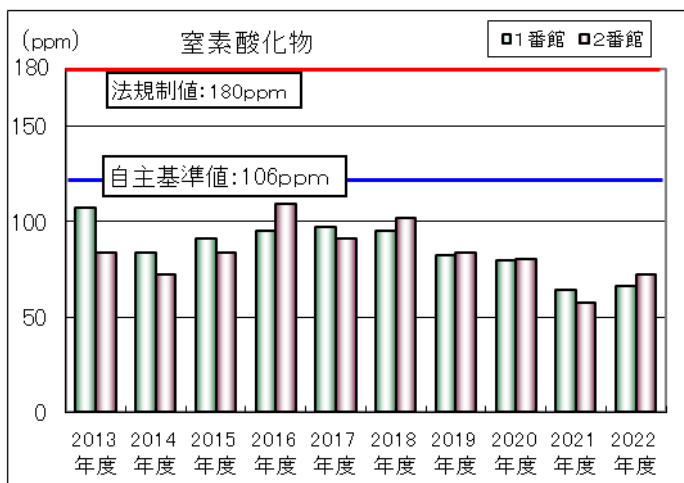
・ばいじん: ばい煙の一種で、すすや燃えかすの固体粒子状物質。

煙道のばい煙濃度計により、常時ばい煙の状態を監視しています。



・硫黄酸化物: 石油や石炭などの化石燃料を燃焼するときに排出される物質。ソックス(SOx)ともいう。

硫黄酸化物の濃度を抑制するために、燃料中の硫黄成分が少ないLSA重油を使用しています。
※LSA重油: Low Sulfur A重油



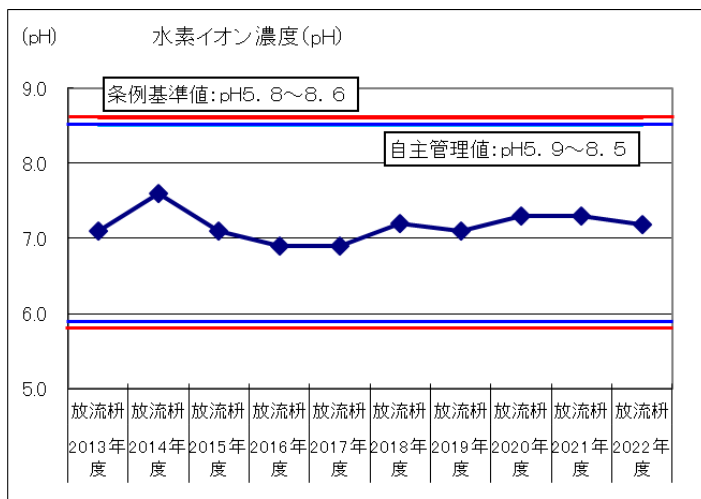
・窒素酸化物: 光化学オキシダントの原因物質で硫黄酸化物と同様に酸性雨の原因ともなっている物質。ノックス(NOx)ともいう。

燃焼温度を管理し窒素酸化物の濃度を適正に管理しています。

水質関係

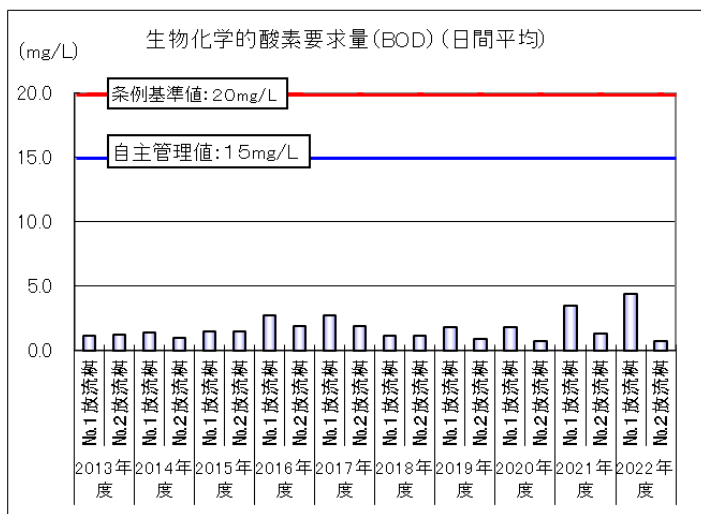
水質汚濁防止法の法規制値より厳しい山形県の条例基準値を順守すべく、更に厳しい自主基準値を設定し、排出水の水質を管理しています。また、水質汚濁防止法に基づく定期測定の結果、水質関係の各測定値は法令基準値を下回る低い水準で推移しています。

当社の工程からの排水は、全て社内の処理施設にて処理を行っています。処理した排水を工場敷地外に排出する際は、最終放流桝のpHセンサーにて常時監視を行い、水質基準に合わない水を流出させないようにしています。



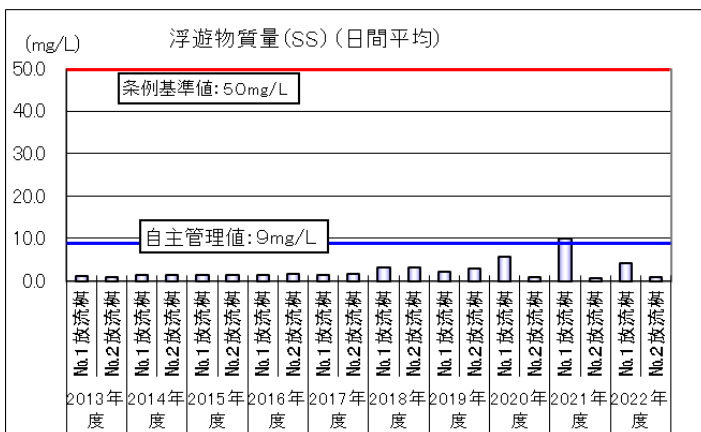
・pH: 水溶液の酸性・アルカリ性の程度をあらわす単位。(中性はpH7.0)

各排水処理施設の最終段階で更にpH調整を行い放流しています。



・BOD: 水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量のこと。河川の有機汚濁を測る代表的な指標。

流動接触槽による生物活性処理を行い、BODの低減をはかっています。また、製造のプロセス設計の段階から工程排水のBODを低減するようにしています。



・SS: 水中に浮遊している直径2mm以下の粒子状物質。懸濁物質とも言う。

排水処理工程にて、凝集沈殿、砂ろ過等により浮遊物質の除去を行っています。

10. 労働安全衛生

労働安全衛生活動

1. 活動方針

- ・労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善による労働災害防止に努めます。
- ・労働安全衛生に関する法令、規制を順守すると共に、社内規程を順守します。
- ・従業員の健康保持・増進を図ります。

2. 年間重点実施事項

(1) 安全関係

- ・リスクアセスメントを活用した安全衛生活動の徹底
- ・職場巡視の定期実施及び指摘事項の改善

(2) 衛生関係

- ・健康診断結果に基づく事後措置、保健指導の実施
- ・ストレスチェック調査結果に基づく改善支援
- ・昭和電工グループ「健康保持・増進プラン2021」取り組みの継続

3. 労働災害の状況

- ・2022年度は、休業・不休業災害とも「ゼロ」でした。
- ・無災害労働時間(2023年3月現在 社員と協力企業の合計)

361万時間 (本社) **389万時間** (基板工場)

『安全意識の向上として危険体感設備の充実とリマインド教育を実施』について

2022年7月に脚立ぐらつき体感、ヘルメット・安全靴挟まれ体感、感電の3つの新規設備を導入し危険体感設備(全11設備)の充実を行いました。この導入の機会に、レイアウトの見直しを行い、説明資料・写真を追加掲示し、より記憶に残る教育になるよう工夫しました。また教育の際は、講師の実体験や様々な事例、法令情報、保護具の重要性を説明に多く取り入れ、“従業員一人ひとりに労働災害を絶対起こさせない”という強いメッセージを発信することを意識し、11月から全従業員を対象に教育を開始しました。

・リマインド教育実績 388名(社員197名、協力企業117名)

・2022年に追加した危険体感設備



基板工場の取組み

2号門声掛け運動

安全週間の行事の一環として、経営職層、安全担当及び協力企業管理者による朝の声掛け運動を行っています。

「ご安全に！」の挨拶や「指差呼称」による安全意識の定着やコミュニケーションを図り、安全第一を啓蒙しています。



安全行動10則の唱和

「安全は全てに優先する」、「すべての災害は防ぐことができる」を、強く信念に持ち、安全行動10則の唱和を

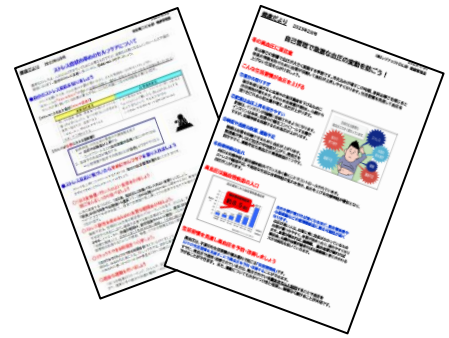
毎朝、経営職層による声掛けから、従業員全員にて、指差呼称唱和を実施しています。



11. 心と身体の健康づくり

『健康だより』の定期発行

健康をおびやかす生活習慣病が深刻化するの、働き盛りである40歳代以降ですが、そのリスクは20~30歳の頃から蓄積されていきます。健康でいきいきと元気に働くためには、日頃の健康づくりと健康管理に取り組むことが大切です。健康管理室では身体と心の健康のために必要な健康情報を提供し、健康意識を高めていくために毎月1回「健康だより」を発行しています。今後も健康づくりに有効で健康管理に役立つ、興味深い情報提供を行っていきます。



社内の健康づくり 『社内運動』の取り組み

当社では2015年より日頃の運動不足解消と運動習慣の定着化を図るために社内運動を実施してきました。コロナ禍で一時的に中断していましたが2023年1月より社内運動を再開し、昼食後15分間に一斉に実施しています。外部の健康運動指導士の指導を受けながら有酸素運動と筋トレを合わせた効果的な運動を体力の維持と筋力強化を目標に取り組んでいます。参加者も意欲的に取り組んでおり、業務の活性化につながっています。今後も従業員のヘルスリテラシー（健康意識）を向上させるために、健康増進と生活習慣病の予防改善のために社内の健康づくりに取り組んでいきます。



『健康づくり・私のチャレンジ90』の取り組み

当社では2020年より健康づくりの取り組みとして「健康づくり・私の健康チャレンジ90」を実施しています。心身ともに健康で活き活きと働くためには健康基盤を形成することが大切です。健康診断前3か月間を「健康意識を改善するための取り組み期間」と位置づけ健康な生活習慣を体得し健康づくりの意識定着につなげています。右に示す“健康づくり”『私のチャレンジ90宣言書』を用いて自身の健康づくり(生活習慣改善)の目標を宣言します。90日すべて活動を実施するとサクラの木が満開になる仕掛けをしており、健康的な生活習慣を体得すると同時に健康診断で目標達成の意欲向上をねらっています。今後も「自分の健康は自分で守る」という健康意識を高めて生活習慣病の予防と改善策について取り組んでいきます。



12. 社会との関わり

献血への協力

山形県内では輸血用血液製剤の需要が増加しています。そのため毎年、東根市の協力依頼を受け、日本赤十字社の血液事業(献血)に協力しています。構内で移動献血車による献血を年2回実施しており、毎年40名程が献血に協力しています。

これからも、日頃の体調管理に気を配り私たちの血液を1人でも多くの方に役立てていただけるよう、協力してまいります。



出前授業

2013年2月13日、2月16日 前年に引き続き県内の創学館高校 情報メディアコースの2年生(76名)を対象に出前授業を実施しました。これは産学連携事業の一環で「ハードウェア技術」単元の補助記憶装置の実習として、ハードディスク(メディア)製造でグローバルに活躍する地元企業の当社より高度な専門的知識と技術について学ぶことを目的としています。

講義では、開発部の担当者が講師となり「HDDの構造と技術、HDメディアの製造プロセス、HDDの分解実習 等」についてHDDの概要や磁気記録の概念、HDメディアの高度な成膜技術や研磨技術等を分かり易く丁寧に説明しました。冒頭に行った記憶容量の単位(メガバイト→ギガバイト→テラバイト…)をどこまで知っているか?の質問では、ヨタバイトまで知っている生徒もいて私達も驚かされました。

本出前授業を通じて、HDメディアにおける高度技術、高品質、魅力を伝えるとともに、地元山形県東根市で、当社が技術と品質で世界と戦うグローバル企業であることを認識してもらえたと思います。

昨年、同校から当社初となる高校生を採用しました。今後も社会貢献活動および採用活動の一環として、本活動を通じて、尚一層地域との強固な関係を深めていきたいと思ひます。



『アルミ缶リサイクル活動実績』

当社ではアルミ缶リサイクル活動を推進しています。従業員が家庭等で出た使用済みアルミ缶を持ち寄り、社内に設置した回収BOXに入れます。

2022年の活動実績は以下のとおりです。

- ・回収缶数: 37, 912缶
- ・回収重量: 676kg
- ・収益金 : 62, 353円

収益金は東根市社会福祉協議会に全額寄付しました。



『2022オンライン果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会』への協力

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大会の1年延期が発表され代替大会としてGPSトレーニングアプリ「TATTA」を使用したオンラインマラソンが実施されました。

内容としては6月4日～6月26日の開催期間中に自宅近辺等の好きな場所を走り、その累計距離で各自の目標距離達成を目指すものでした。

通常コース3,700名 東根満喫コース300名

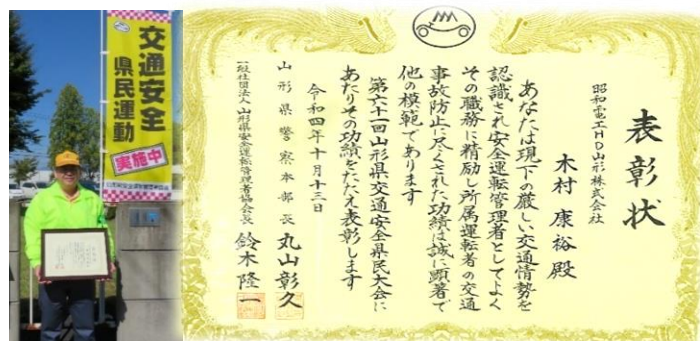
そのため、残念ながら毎年協力していた好評の『冷たいタオルの提供』は行えませんでした。



『優良安全運転管理者』として表彰

山形県下一斉に交通安全県民運動への継続的な協力と従業員の交通安全順守状況が評価され、当社安全運転管理者の木村さんが、山形県警察本部長・山形県安全運転管理者協議会長から、功績を表彰されました。(2022年10月13日)

これは2021年の村山警察署・村山地区安全運転管理者協議会からの功労彰を受賞に続く荣誉ある表彰です。



東北経済産業局から『エネルギー管理優良工場』で表彰

エネルギー管理指定工場としての適切な管理と省エネルギー施策の不断ない実行により、2015年のクラス分け制度創設以来7年間継続して、エネルギー管理指定工場クラス分け評価でSクラスの評価を受けているなどの理由で、東北経済産業局長から表彰されました。(2023年2月21日)



事業場周辺清掃活動への参加(基板工場)

基板工場周辺の一斉清掃を年2回定期的に行い、良好な景観の維持に努めています。

今後も、事業所周辺の清掃活動を継続的に実施するとともに、地域の清掃活動にも積極的に参加し、地域貢献・周辺環境整備に努めてまいります。





13. 従業員との関わり

入社式

2022年4月1日、昭和電工HD山形株では2名の新入社員を迎えることができました。入社式では青木事業所長から祝辞と共に期待の言葉が贈られました。

初日から5日間は人事主催の共通研修を実施し、最終日には研修発表が行われました。所属長をはじめ関係者を前に研修で学んだことを発表している姿には成長が感じられました。6日目以降は職場実習が行われています。

これからも研修や実務を通して大勢の人と関わり、さまざまなことを学んでもらいたいと思います。



『交通安全県民運動』への協力

春と秋に山形県下一斉に交通安全県民運動が展開されます。当社でも従業員向けに夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止推進や、道路横断時・交差点における交通事故防止などの交通安全啓発活動として、交差点と正門で交通安全指導を行いました。

- ・春の交通安全県民運動（2022年4月 6日～4月15日）
- ・秋の交通安全県民運動（2022年9月21日～9月30日）



緊急事態対応訓練の実施(基板工場)

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある環境関連施設において緊急事態対応訓練を実施しています。

タンクローリーにて回収している廃液の漏洩対応訓練を当社受入担当者、タンクローリーの運転手の協力で実施しました。あらゆる気象条件下においても迅速かつ適切に対応できるように、訓練を実施しています。



14. 新型コロナウイルス感染予防対策

マスク着用義務化、手指消毒の励行

2020年2月から事業場内でのマスク着用を義務化し、社員はもとより、協力企業従業員や来場者にもマスクを配布して着用してもらうことを徹底しています。

また、場内の各所に手指消毒剤を設置し、随時消毒できるようにしています。

これらの対策は、現在も継続していますが、感染状況により随時、見直していきます。



検温管理の徹底

事業場内でのマスク着用の義務化と合わせて、社員はもとより、協力企業従業員や来場者の検温管理も実施しています。

社員は、検温結果を自社製のWebシステムに登録し、所属長や管理部門で確認できるようにして、場内での蔓延防止に活用しています。

外部からの来場者も、受付の際にサーモカメラを用いて体温を計測し、発熱している方には入場をお断りする等の対策を実施しています。



3密回避策の徹底

万が一、感染者が発生した場合にクラスターを回避するため、事業場内での『3密回避策』を徹底しています。

①テレワークの導入

エンジニアやスタッフなど、在宅勤務(テレワーク)が可能な職種の従業員に対しては、情報セキュリティ対策を強化したうえで、自宅などからオンラインで業務が行える体制を整えています。

②社員食堂の分散使用と座席レイアウトの変更

昼食時の社員食堂の3密回避のため、お昼休みの時差休憩を見直しました。打合せ時間に制約がでるなどの多少の不便はありますが、混雑することなく食堂が利用できることで3密回避につながっています。

また、座席は一人ひとりの間隔を空けるため1テーブル1席とし、すべて窓に向けて横並びに配置することで、感染リスクの低減を図っています。



RESONAC

Chemistry for Change

株式会社レゾナックHD山形

2023年 CSRサイトレポート
発行年月:2023年10月

本レポートに関するお問い合わせ先

株式会社レゾナックHD山形 総務部 CSRグループ
〒999-3701 山形県東根市東根甲5400番地2
Tel:0237-43-6111 Fax:0237-43-6039